

『ESD(持続可能な開発のための教育)推進の手引』の改訂について

1. 『ESD推進の手引』概要

- ESDを各教科、総合的な学習の時間等において具体的にどのように実践すればよいのかや、その準備の進め方等のイメージを示す手引の作成について提言を受け、ESDに関する研修を企画・実施する担当指導主事または学校管理職を対象とした「ESD 推進の手引」を作成したもの。

(内 容)

- 地球規模の問題解決のみならず、環境、社会、経済、文化の関係性を考慮した総合的な取組を通じて、持続可能な社会の担い手を育てる教育が求められている旨を明記
- 優良事例に基づき、ESDに取り組む上でのポイントとなる点をSTEP1～5にわけて解説。
- ESDに関する研修プログラムのモデル、初歩的な疑問点についてQ&Aで記載、関係用語集やリンク集を掲載。

2. 今回改訂の趣旨

SDGs や新学習指導要領及び、昨今のユネスコ本部におけるユネスコスクール制度改革を踏まえ、以下について内容を追記する形でアップデートを行う。本手引の改訂方針として、随時必要なアップデートを行いつつ、大きな状況の変化(例えばGAPの後継プログラムの開始など)があった際に、大掛かりな改訂を実施する。

- ① 持続可能な開発目標(SDGs)との関係
 - SDGsにおける教育、ESDの重要性(pp.5-7)
 - SDGsを活用したESDの実践事例(pp.36-38)
- ② 新しい学習指導要領とESDの関係
 - 新しい学習指導要領全体の基盤となる理念であるESD(pp.7-8)
- ③ ユネスコスクールについてのアップデート
 - 申請方法の変更について(pp.39-42)
- ④ より実際のカリキュラム・マネジメントプロセスに近い形にSTEP1～5を並び替え
 1. 校長の学校経営方針とESDの目標
 2. 学習計画(及び指導案)の作成と実践
 5. →3. 学校運営(ホールスクールアプローチの展開)
 4. 地域や大学・企業との連携
 3. →5. 発信と振り返り

3. 今後の予定

平成30年2月中 有識者の皆様からの御意見の聴取(2月26日目廻り)
 平成30年3月初旬 御意見の取りまとめ、最終版の完成